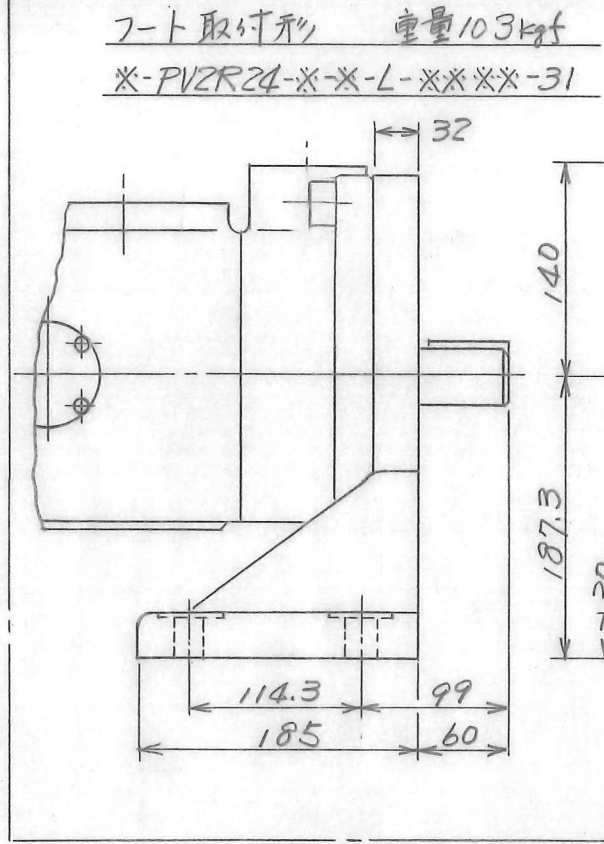
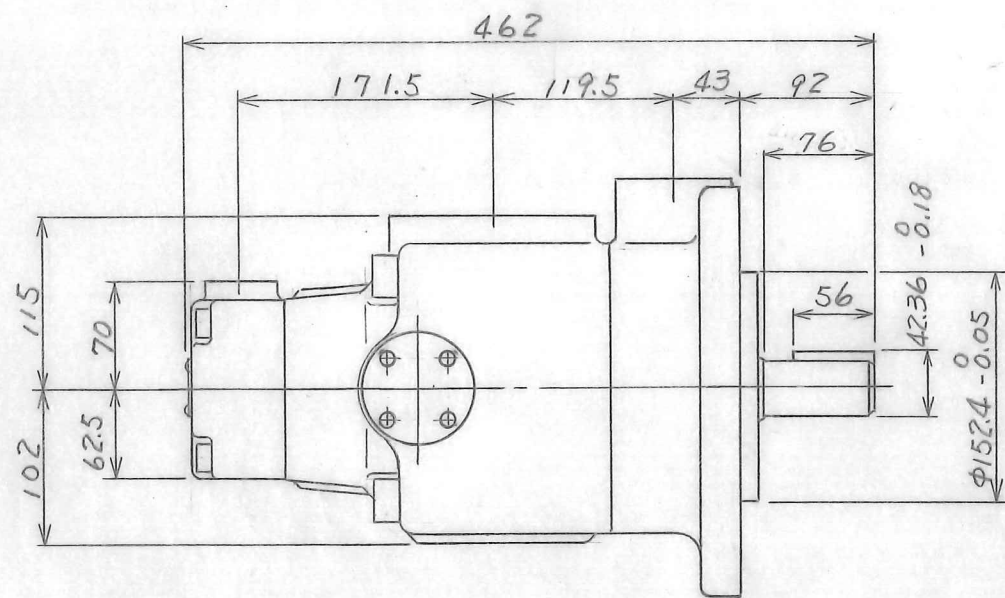


管フランジ取付面は SAE J518 4ボルト
 スプリットフランジに準拠しています。



モデル番号の構成



フランジ取付形 重量78kgf
 ※-PV2R24-※-※-※-※-※-※-31
 大流量側吐出ポートの向きは(A)のみ

4-φ21.5 通し
 φ39 サグリ深1
 (ウラ側)

※-PV2R24-47-237-F-RAAA-31

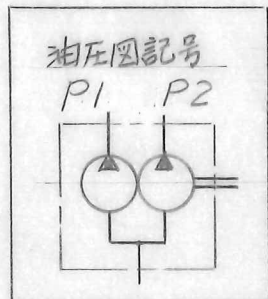
通用流坪記号
 F: 91mm 級 エステル系
 作動油使用の
 場合のみ記入

シリーズ番号
 小流量側押し付け
 容量の呼び
 26, 33, 41, 47
 大流量側押し付け容量の呼び
 136, 153, 184, 200, 237

設計番号
 吸込みポートの向き
 (軸端から見ると)
 A(標準), B, R, L
 大流量側吐出ポートの向き
 (軸端から見ると)
 A(標準), B, R, L
 小流量側吐出ポートの向き
 (軸端から見ると)
 A(標準), B, R, L
 回転方向(軸端から見ると)
 R: 時計方向(標準)
 L: 反時計方向

取付形式
 F: フランジ取付形
 L: フット取付形

31/3



SYM REVISIONS	DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	99-1-20	寺沢	
	承認 APPROVED	検図 CHECKD	形式 MODEL NO.
	松本	河原	※-PV2R24-※-※-※-※-※-※-31
	三角法	THIRD ANGLE PROJECTION	名称 NAME
	FILE NO.	197	※-PV2R24 形 二連 ベンポン
			図番 DWG NO.
			PA314238-7-0 (1/5)

定格

最高使用圧力 ----- 表1参照
 回転速度 ----- 表2参照
 吸込み圧力 ----- 表2参照

使用油について

作動油の種類 ----- 表1参照
 作動油の推奨粘度グレード ----- ISO VG32~46
 △使用粘度範囲 ----- 20~400mm²/s
 使用温度範囲 (ただし上記粘度範囲にご注意ください。) ----- 表2参照

使用上の注意

- 1, 作動油の管理
 作動油の汚染管理には十分注意を払い、汚染度は JIS B 9933 (ISO 4406) 23/21/18または、NAS 12級以内にしてください。
 なお、吸込みラインには 100μm (150 メッシュ) のタンク用フィルタを、タンクの底から50mm以上離して必ず設けてください。
- 2, 軸接続上の注意
 軸接続の際はできるだけフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。
 なお、駆動軸とのズレはTIR.0.1 mm、角度誤差が0.2°をこえないでください。
- 3, 起動上の注意
 1) 起動時または長時間休止後に運転を行う場合吸込みにくいことがあります。そのときは吐出し側にて空気抜きを行うか、または空気抜き弁 (モデル番号: ST1004) を設けてください。
 △ 2) 起動時において低回転速度でご使用の場合は最高粘度が制限されます。
 600r/min ----- 100mm²/s
 950r/min ----- 200mm²/s
- 4, ポンプ取付上の注意
 タンク内の油面がポンプより下側にある場合には吸込みポートを上向きにして使用することを推奨いたします。
- 5, 管フランジキット
 ポンプには管フランジキットが付属されておりませんので、ご使用の際には下表を参照のうえご注文ください。

対応するポート (呼び口径)	管フランジキット番号 (注)	
	ねじ込み形	溶接形
吸込みポート (3 1/2)	※-F5-28-A-10	※-F5-28-B-10
小容量側吐出しポート (3/4)	※-F5-06-A-10	※-F5-06-B-10
大容量側吐出しポート (1 1/2)	※-F5-12-A-10	※-F5-12-B-10

管フランジキットには取付けボルトおよびOリングが付属されます。

(注) 管フランジキット番号

※-F5-※-※-10

適用流体記号

F: りん酸エステル系作動油のみ記入

6, 水グリコール系作動油使用上の注意

水グリコール系作動油をご使用の場合、シャフトオイルシール部より軽微な油漏れが発生します。
 (油漏れの目安: 500mL/6ヶ月)
 ポンプベースに適切な容量のトレイを設置してください。

△ 7, 使用圧力の注意

大容量側の使用圧力は、必ず1MPa以上としてください。

△ 表1

モデル番号	理論 押し のけ 容 積 cm ³ /rev	最高使用圧力 MPa						
		石油系		水グリコール系		W/Oエマ ルシ ョン 系作動油	りん酸エ ステ ル系 作動油	脂肪 酸 エ ステ ル系 作動油
		耐摩 耗性 作動油	R&O ★ 作動油	耐摩 耗性 作動油	非耐 摩 耗 性 作動油			
※-PV2R24-26-※	26.6	21	14	16	7	7	14	14
※-PV2R24-33-※	33.3							
※-PV2R24-41-※	41.3							
※-PV2R24-47-※	47.2							
※-PV2R24-※-136	136	17.5	14	16	7	7	14	14
※-PV2R24-※-153	153							
※-PV2R24-※-184	184							
※-PV2R24-※-200	201							
※-PV2R24-※-237	237							

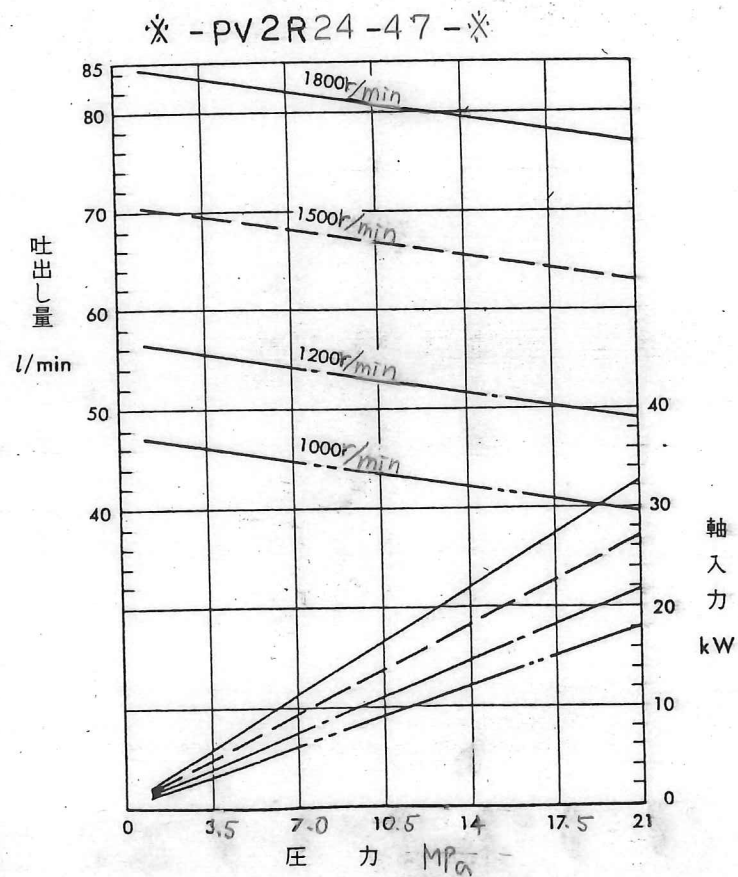
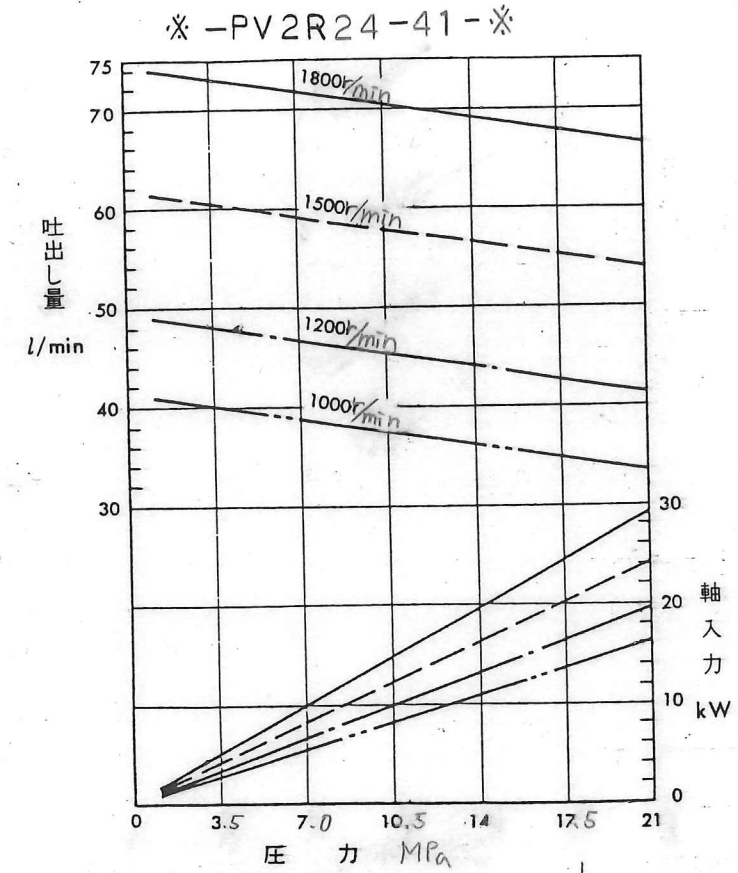
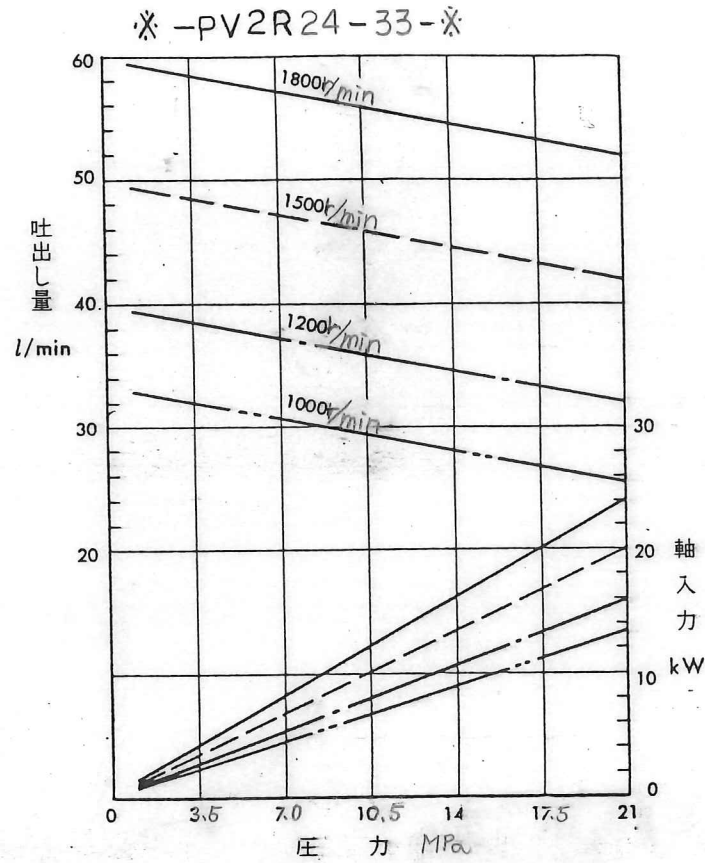
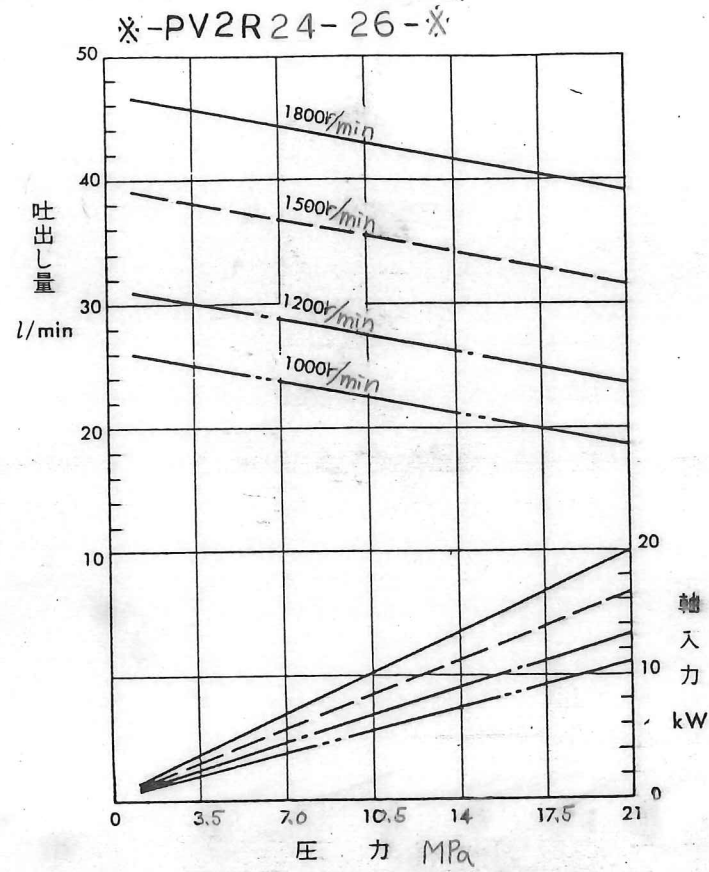
△ 表2

作動油の種類	回転速度		吸込み圧力		使用温度範囲	
	最高 r/min	最低 r/min	最高 kPa	最低 kPa	最高 °C	最低 °C
石油系作動油	1800	600	+30	-20 (注1)	70	0
脂肪酸エステル系作動油					50	0
水グリコール系作動油	1200			-16	50	5
W/Oエマルション系作動油		70	0			
りん酸エステル系作動油						

(注1) PV2R24-※-237は回転速度が1700r/minをこえてご使用の場合、最低吸込み圧力が-13kPaに制限されます。

林 江 野 片 野 P16-078/8/23 P16-006/1/18 P99-078/9/30 SYM REVISIONS DATE SIGN	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO. ※-PV2R24-※-※-※-※※※※-31 NAME	
	APPROVED	CHECKED		
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		DWG NO.	PA314238-7-3 (2/5)
	FILE NO.		197	

△ ※-PV2R24形二連ベーンポンプ
 作動油粘度 20 mm²/sec における特性 (代表値)

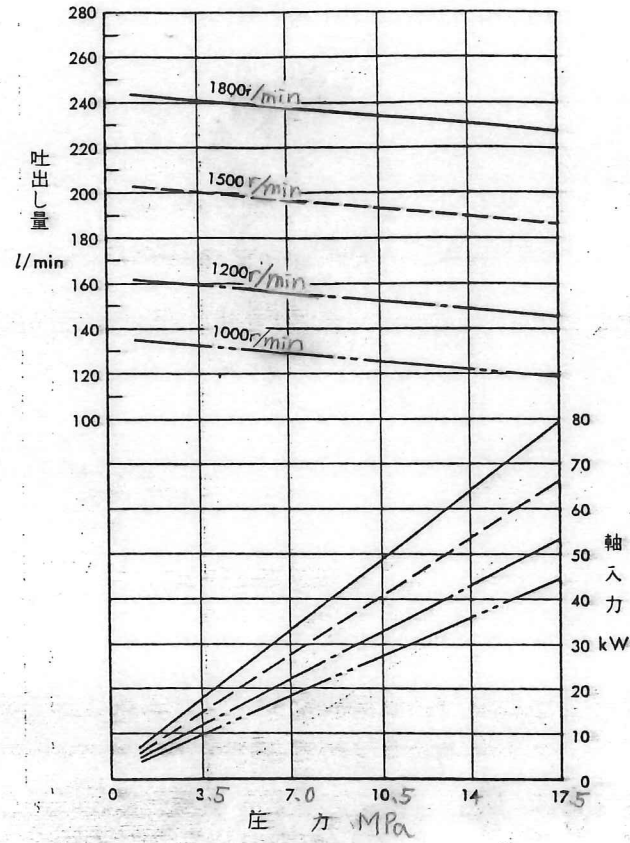


大野 野矢 199-078 3/30 197	SIGN	日付 DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	DATE	承認 APPROVED	検図 CHECKD	
	REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		名称 NAME-
	SYM	FILE NO. 197	図番 DWG NO. PA314238-7-1 (3/5)	

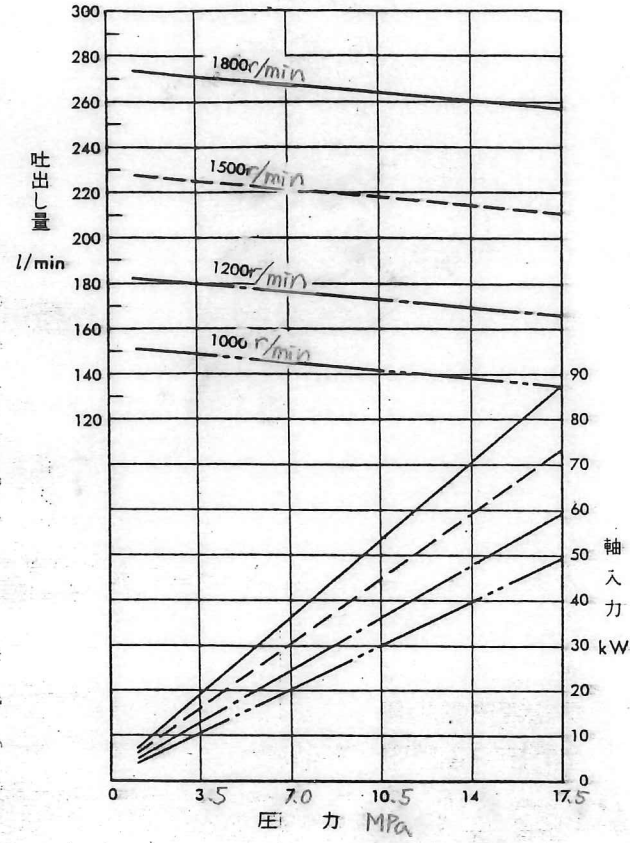
31D

△ ※-PV2R24形二連ベーンポンプ
 作動油粘度 20 mm²/secにおける特性(代表値)

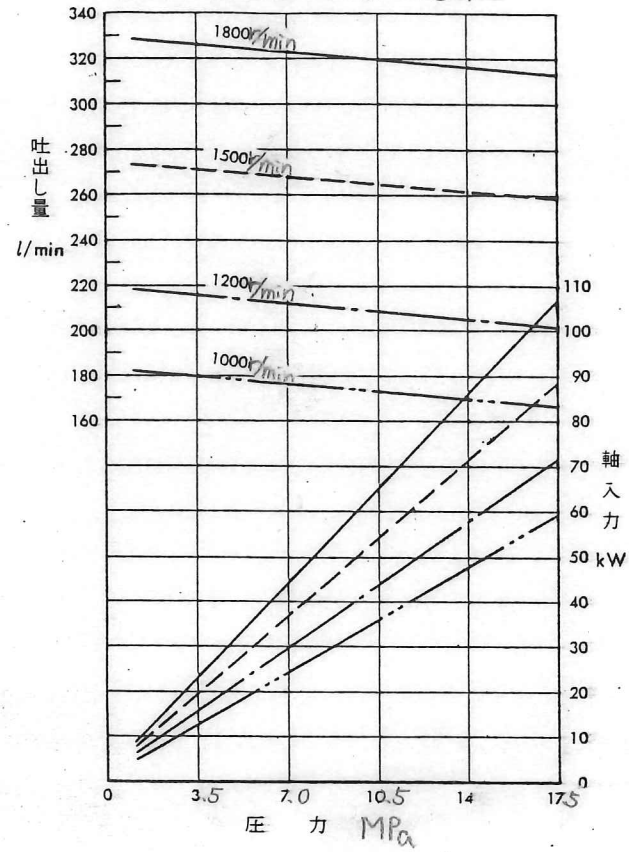
※-PV2R24-※-136



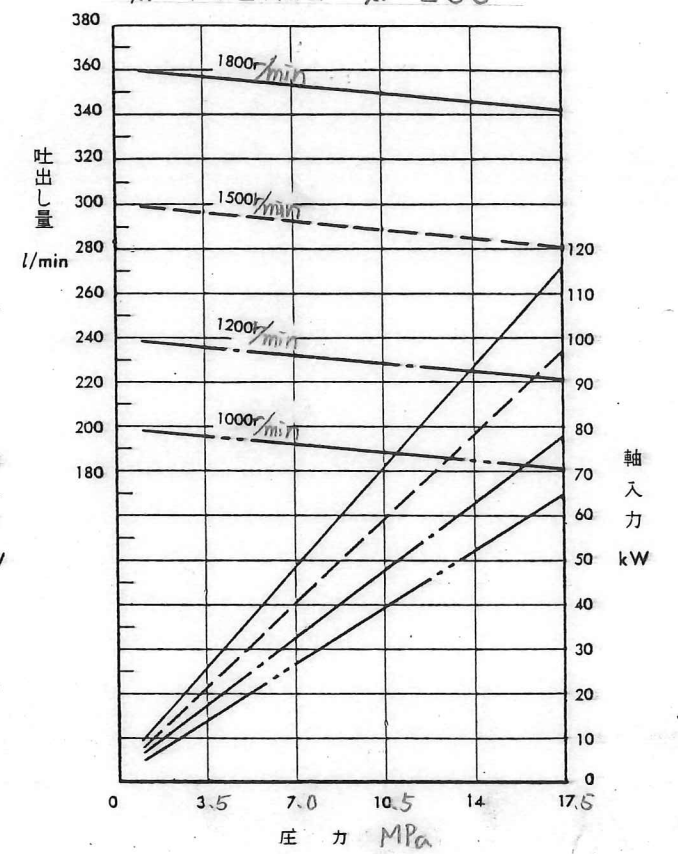
※-PV2R24-※-153



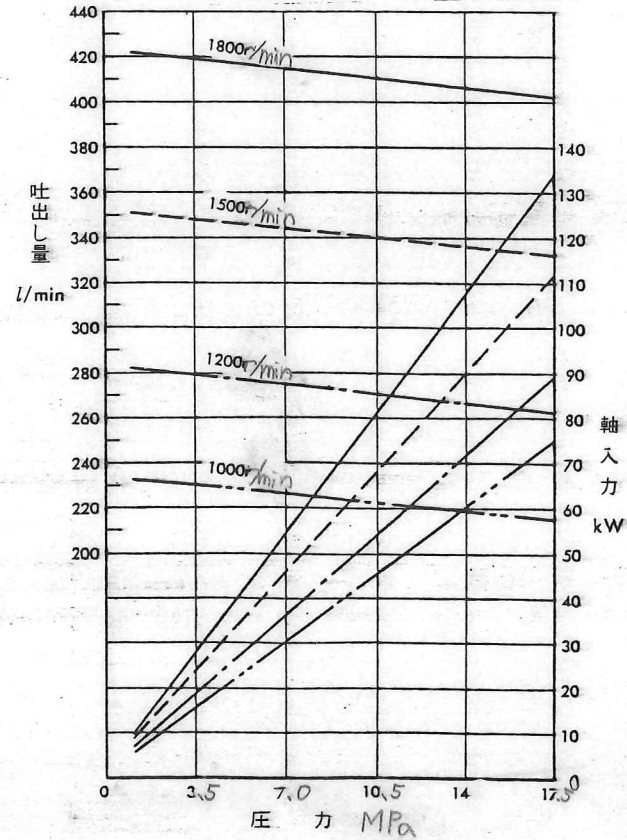
※-PV2R24-※-184



※-PV2R24-※-200



※-PV2R24-※-237

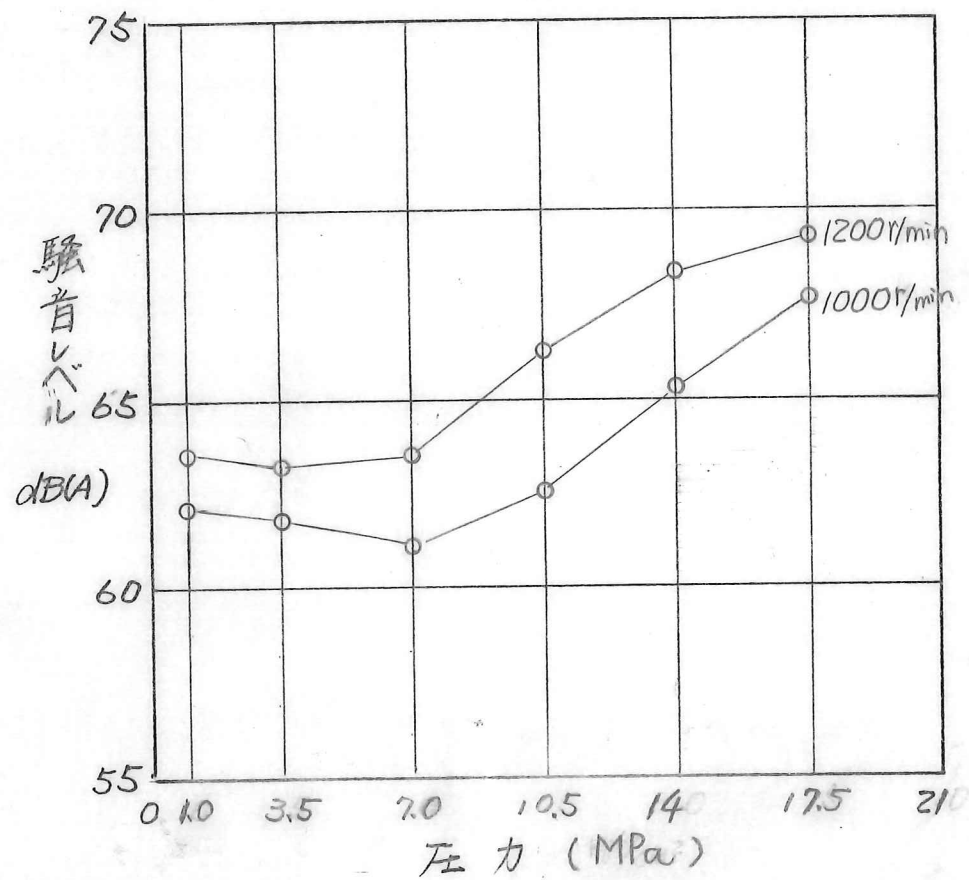


片野 9/30 1999-078 197	日付 DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	承認 APPROVED	検図 CHECKED	
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION	名称 NAME	名称 NAME
	FILE NO. 197	図番 DWG NO. PA314-238-7-1	図番 DWG NO. (4/5)

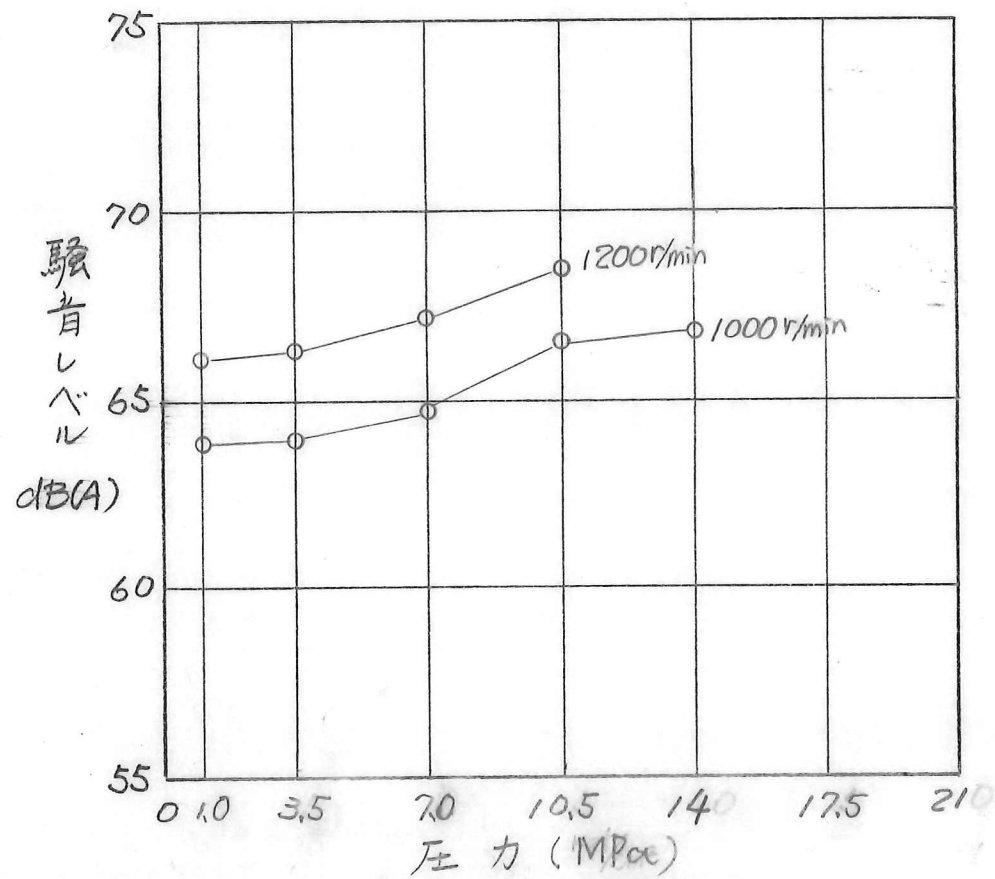
31D

△
 ※-PV2R24形ポンプの騒音特性(代表値)

作動油 ISO VG32 20mm²/sec
 騒音 40dB(A)以下
 測定位置 ポンプ後方 1m
 圧力条件 大流量側,小流量側とも同一圧力



※-PV2R24-47-136-※-※※※※-31



※-PV2R24-47-237-※-※※※※-31

片野 9/30 9/18 P99-078 SYM REVISIONS DATE SIGN	日付 DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	承認 APPROVED	検図 CHECKD	
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		名称 NAME
	FILE NO. 197	図番 DWG NO. PA314238-7-1 (5/5)	